



みちくさくらす



みちくさくらす

～教室・キッチンを核とした暮らしづくり複  
合施設における子育て世代を中心とした多世  
代の学び蓄積の取組み～

東京都新宿区市谷柳町



## 1. みちくさくらすとは？



都心における子育て世代は、日々の忙しさに追われ、**子どもの放課後の過ごし方やこれからの教育について深く考える機会を失いがちです**。また人との繋がりが希薄な都心での生活では、尚更情報を共有したり考える機会が多くありません。公立学童には子どもがあふれる一方、民間学童は手厚い代わりに費用が高むなど、手の届きにくいのが現状です。

子どものいる私たち夫婦も例外ではなく、そんな都心での生活を変えたい思いから、自分自身で子どもが有意義に過ごせる居場所づくりを始めました。

近隣の大学生や多様な知識を持った高齢者メンバーにも協力を仰ぎながら放課後に子どもが勉強したり遊んで過ごせる2Fの教室、今後自分のお店を出したいけれども一歩を踏み出せない地域の料理家の方に場所・機会を提供する1Fのシェアキッチンを通じて、仕事帰りの忙しい子育て世代や孤食に陥りがちなサラリーマン、料理をするのが難しい高齢者の方へお惣菜・お弁当を日々提供しています。

本来直接関わりを持つことのない人同士がみちくさくらすを通じて関わることによって、新たな関係性や学び・気づきが得られる場所を目指して活動しています。

## 2. 子どもを取りまく環境と、そこから目指すこと



私たちは大都会新宿において、子育てまっ只中の夫婦であり他人事とは思えないこれらの社会的背景に対して、自分たちの問題意識にコミットしていきたいと考えています。

1. 子どもの放課後の時間をいきいきしたものにする
2. 生きる力、考える力、創造力、表現力、コミュニケーション力が高い子どもを育てる
3. 子育て中のパパママをもっと笑顔にする
4. リアルな場での人と人との思いがけない出会い、交流をデザインし、楽しさを共有する

以上の4点をミッションに掲げており、**日頃より問題を抱えていて何とかしたいと思っている地域の方や、社会へ貢献したいと思っている人々を巻き込みながら活動を行っています**。

### 1. 小学生の教育のあり方と放課後

小学校は昼過ぎに終わり、**放課後をどこでどのように過ごすのか、共働きで手助けを得られない家庭は頭を悩ませます**。また生きていく上での知識を学ぶ機会も学童では得られない現状があります。

### 2. 子育て世代の負担

子育て世帯は自己実現と家庭の両立に奔走、日々の仕事に疲れ切っていて家事や**食事がおろそかになりがちです**。安心安全な食事ができる場所や子育ての大変さを共有できる場があればと感じています。

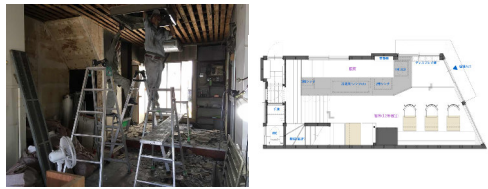
### 3. ご近所さんの顔が見えない世界

都心では、**子どもを自由に遊ばせたり安心な食事ができる場所の少なさに気付かされます**。隣に誰が住んでいるのかわからない生活では、**困った時に頼れるご近所さんとの繋がりがなかなか持てません**。



## 企画

築年数不明の木造2階建て。改修前はクリーニング店



## 設計

計画をローコストにおさめるため、工務店に依頼する部分とDIYの区別を明確にした。解体は予想外の連続。恐ろしく汚れた天井下地だった。



## 施工+DIY

設備や水回り以外は友人や地域の人を巻き込みDIYした。大人も子どもも関係なし。DIYでは各々ができることをやる。



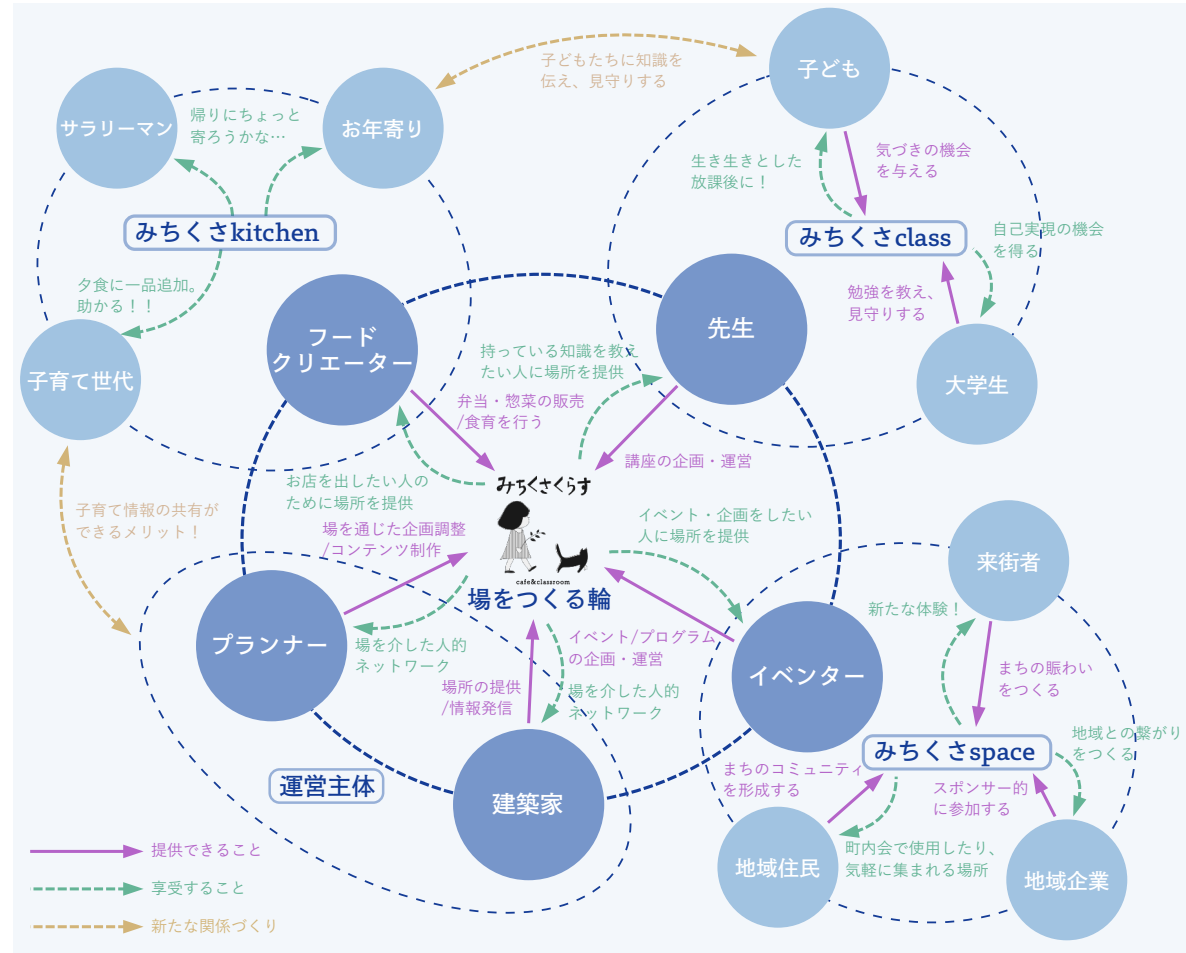
## オープン

お披露目会にはのべ100人ほど訪れ、これらを祝った。現在1Fはシェアキッチンやカフェとして利用している。



## 教室始動

夏休みより教室を本格始動し、地域の子どもを受け入れながら近隣の大学生による見守りや先生を呼んで講座を行っている。



### ■みちくさくらすの活動を構成する経済の仕組み

みちくさくらすを構成している事業は大別して、みちくさkitchen(シェアキッチン)、みちくさclass(教室)、みちくさspace(レンタルスペース)の3つに分かれています。それぞれまちなかにいるスペシャリストに関わってもらいますが、**収益チャンネルを増やすこと**で個別のスペース利用料をなるべく抑え、スタートアップを目指している人や場所を利用したい人にとっても関わりやすい条件を整えています。

子どもと大人、立場の異なる人々が出会うことで多様な学びの集積をつくること、また利用者同士で協力して広報・PR活動を行うことで**場を通じた輪**がつけられていきます。







## 5. 世代を問わない活動の多様性



### ベーグルづくりWS

シェアキッチンを利用している料理家の方に子ども向けベーグルづくりWSを行った。パンの作り方や背景を知ることができ、どうい



### ビー玉迷路づくりWS

地域で活動するアーティストの方を呼び、迷路づくりWS講座を開いている。子どもは何も言わなくても自ら独創的なものを作り始める。



### 建築系まちあるき同窓会

近隣の大学で教鞭をとる建築系アカデミックの同窓会。周辺地域を歩いたのちにみちくさくらすで懇親会を行った。ケータリングはシェアキッチンの方のもの。



### 書籍出版記念イベント

都市系の書籍出版記念イベントを対外的に行った。小さな空間を拠点にまちづくり活動を行っている事例を主に情報交換している。



### みちくさbar

みちくさbarと称して、地域で活動している人をゲストスピーカーに呼んでトークイベントを定期的に行っている。この会は地方の古民家で水辺活動を行っている家族の話だった。



子ども/パパママ向け



大人向け



### 絵本販売会

近隣でお下がりの絵本販売を行っている方をお呼びしてカフェ兼中古絵本店を開いた。近隣のママさんや保育園の先生などが来店している。



### ママストレッチ会

地域で活動しているダンサーの方をお呼びして、ママ向けストレッチ会を行った。子ども連れOKとしたことで、参加しやすい雰囲気を作っている。



### 夕方のお惣菜・弁当販売

保育園の迎えや仕事帰りに立ち寄り、食材に気を使ったお惣菜を購入することができる。シェアキッチン利用者に開いてもらい、地域の方を応援。



### 餃子を食べるイベント


地方で餃子屋を営むオーナーの東京におけるポップアップイベント。地方で活躍する人も積極的にお呼びして、地域の方へ情報提供を行っている。



### 珈琲のいれ方WS

実際にカフェの立ち上げに従事しているバリスタの方をお呼びして珈琲の入れ方を教わる講座を開いた。大人向けの会も積極的に開く。





みちくさくらすの  
**夏休みの教室  
openday**

どんな風につかえるの？

- ともだちと夏休みの宿題をする
- 工作や自由研究をしてみる
- 大学生のおにいさんおねえさんに勉強をみてもらう
- 本を読んだり、ボードゲームをしたり

開室日時：夏休み期間中の平日10:00～18:00  
(7/22～8/30まで毎日開放)  
利用日は何度でも出入り自由

対象：小学1年生～  
参加費：500円/日（※事前登録あり/デポジット制）  
申し込み方法：電話 / メール / HPお問合せフォーム  
よりお問合せください

↓お問合せフォーム  
はこちら！

みちくさくらす  
〒162-0061 新宿区市谷柳町7 牛込柳町交差点そば 交番のお隣  
連絡先 TEL: 050-5359-5328 mail: michikusakurasu@gmail.com  
HP: michikusakurasu.com




### ■教室事業を通じた他学童との連携

教室事業を通じて子どもの数があふれている公立学童からの児童受け入れや、地域で実際に活躍している方から生きていく上で必要な知識を学べる講座を定期的に行っていくことで、生き生きとした子どもの時間をつくりたいと考えています。  
また帰りの時間帯には子育て世代や単身者世帯の食事にも手助けとなりうる安心安全なお惣菜・お弁当の販売をすることで、豊かな生活を維持できるようにします。

### ■多様な学びの蓄積と発信を行う

大人が子どもに教えるという一方的な学びの機会だけでなく、この場を通じて色々な立場同士の関わりをつくることで、多様な学び、気づきを蓄積していきます。  
また情報発信を同時に行うことで、ここに来れば何か面白いことがあるというサイクルを作っていきたいと考えています。

### ■みちくさくらすを通じて、地域に生業を増やす

地域には自分の持っている能力や知識を発揮したい人が実は多くいます。しかしながらその能力を発揮する機会が限られていたり、そもそも使いたい人に出会っていない可能性もあるため、みちくさくらすを通じてそんな人と人のマッチングを行い、地域でこうした商いや生業をする人を増やしていきたいと考えています。

